

光明寺だより

第112号
浄土真宗本願寺派
光明寺

〒793-0030 西条市大町550
TEL 0897-53-4583



心に残る詩

初日の出 大崎裕子 (76)



子供はおひさまと言
大人は太陽と言
おばあちゃんはお
天道様と言いますが
みんな新年の
神々しいその姿には
見惚れます
希望の光に
手を合わせます
世界の人人々に
平和と幸せを！

産経新聞「朝の詩」より

お知らせ

おねはん
本年の「涅槃会」は中止いたします

ご案内

親鸞聖人生誕850年特別展

【会期】 3月25日～ 5月21日

【会場】 京都国立博物館（東山七條三十三間堂前）



新年法話



一仏さまのサイン

本年もよろしくお願い申し上げます。

さて、私たち浄土真宗は「ナンマンダブ、ナンマンダブ」と、お念仏を称える宗旨であります。

お念仏は阿弥陀さまが私を呼んで下さっている呼び声です。「本願招喚しょうかんの勅命ちよくめい」と申しますが、どのように私を呼んでおられるのか、それを聞いていくのです。

言葉にすれば「南無阿弥陀仏」。お姿にすれば、本堂正面に安置されています。あのお姿です。あのお姿が私たちに語りかけて下さっているものを聞いていくのです。

何と呼んでいるでしょうか？
聞こえますか？

どうですか？

もし、何か聞こえたという方がいらっしやったら、それは単なる空耳そらみみです。そんなもん、聞こえるはずがありません。

ところが仏さまはあのお姿、形を使って私に語りかけて下さっているのです。

「そんなことあるんかいな？」と思われるかもしれませんが、そういうことがあるのです。

例えば野球です。

野球の試合を見ておりましたらよくわかると思いますが、ここはバントをする。あるいは1球待つ、あるいは思い切って打つ等々、そのチームにとって大変大事な場面に出くわすことがあります。

そういう時バッターが夫々それぞれ自分の判断でプレーしてはだめなんです。そういった時は、それを判断して選手に指示を出す人がいます。それはチームの最高責任者である監督さんです。

監督さんが選手に指示を出すのにどうしていますか？

例えば、バントの指示を出す時、監督さんはベンチから大声で「オーイ、伊藤（仮名）次バンドせーよ」などと言いますか。そんなことをしたら、相手チームにばれてしまいますよね。そんな時、監督さんはどうしていますか？

帽子に手をやったり、肩に手を置いたり、ベルトを触ったり等々、相手チーム

に分からないように選手に指示を出します。それを見て選手は監督の指示通りに動くのです。

このように言葉を使わなくても、自分の意志を伝えることが出来るのです。そこで、このサインですが、大事なことがあります。

その一つは、何といっても自分のチームの監督さんの指示に従うということです。巨人の選手ですと原監督のサインを見るのです。岡田監督（阪神）のサインを見たのはだめです。ということば、浄土真宗のご門徒は、お大師さんやお不動さんのサインを見たのはだめです。阿弥陀さまのサインを見て、その指示に従うのです。

今一つ大事なことは、サインの打ち合わせをしておかなければならないということです。そのサインは野球のように複雑なものではありません。また、人によってサインを変えたりもしません。わずかに種類のサインを出すだけです。

どんなサインでしょうか？

阿弥陀さまのお姿をよくご覧下さい。

右手を上にあげて、左手は下に下げていますね。それぞれに阿弥陀さまのご意

思を表あらわしています。

右手は「招喚しょうかんの印」、左手は「撰取せんしゆの印」と申します。

右手の「招喚しょうかんの印」とは、招き喚ぶというサインです。私に向かつて「こちらへいらっしやい」と喚よんでおられるのです。

ということは、一体私たちはどこにいるのでしょうか。

私たちは自分で溝みぞを掘り垣根を作つて。「ここからこっちは身内じや味方じや。ここから向こうは他人じや敵じや」と、自らのいのちを狭い狭い殻の中に閉じ込めているのです。

阿弥陀さまは、そんな私たちの姿をこ覧らんになられて、「その小さな殻から出てきなさい。あなたのいのちはそんな狭い世界に閉じ込められたいのちではありません。大きな恵みとおかげを頂たまいたいのちなんです。一刻も早くそのことに目覚めて下さい」と喚よんでおられるのです。そのサインの指示に従う時、私たちは「ああそうでした。お粗末なわが身でした。愚かな私でした」という慚愧さんきの心(深い意味での反省の心)が生まれます。続いて左手のサインです。

「撰取せんしゆの印」と申しましたが、これは「あなたの人生に何が起ころうとも私が護まもり通してあげますから、精一杯あなたの人を生きて下さい」と喚よびかけて下さっているのです。

私たちの歩むこの人生はまことに厳しいものがありますから、色んなものを支えにしながら歩んでいます。

例えば「健康が一番じや」と言う人がいます。そういう方は「健康」を一番の支えにしてこの人生を歩んでいるのです。或は「世の中、何といつても金じや」という人は「お金」を一番の支えにしているのです。

或は「仕事じや」「家族じや」「趣味じや」と、いろんなものを支えにしてこの人生を歩んでいるところです。

勿論そんな支えも必要です。ただ、それだけではだめですよと阿弥陀さまは仰るのです。

なぜダメなのか。

それは、私たちが支えにしているものはすべて移り変わるからです。

だから移り変わらないものを支えにしてくださいと仰っているのです。

その移り変わらないものこそ、「決し

てあなたを見捨てることはしない」と仰る阿弥陀さまのお心(撰取のお心)なのです。

そのお心を頂くとき、「こんなお粗末な私のためにもつたいないことです。有難いことです」という歡喜かんぎ(感謝)の思しいが生まれてきます。

こうして「招喚しょうかんの印」を頂いて慚愧(反省)をする、「撰取せんしゆの印」を頂いて歡喜(感謝)する、「慚愧と歡喜」(反省と感謝)の日暮らし、それが念仏者の人生であります。

心温まるお話
あたた



命名

鹿児島市にある池田学園長・池田弘さんがまだ小学校の教諭をしていた時のことである。

池田先生が受け持っていた小学五年生のクラスにはドッジボールが二個あった。子供たちは休み時間にいつもそのボールで遊んでいた。

休み時間の終了のチャイムが鳴ると、子供たちは一斉に教室に戻る。その際、「誰かが持ってきてくれるだろう」という依存心からか、ボールはかたづけられずに校庭に転がっていることが多かった。

池田先生はホームルームでこのことを取り上げた。議題は「どうしたらちゃんと片付けが出来るか」

いろんな意見が出たが、最終的に「校庭に持ち出した人が持ち帰るといふルールにしよう」ということになり、「それに違反したら罰則を設けよう」

ということにもなった。しかし、守られたのは最初だけで、いつの間にかまた元に戻ってしまった。

数日後のホームルーム、再びこの問題で話し合った。

双子の女の子の一人が「ボールに名前を付けたらいいと思います」と言った。議題と関係ない意見だったので、一瞬、場がシラケた。

そのとき、双子のもう一人の子が大きな声で「賛成!」と言って拍手した。そしたらみんなつられて拍手した。何となく「名前を付ける」に決ってしまった。

池田先生は何も言わず、じつと様子を見ていた。男子用のボールには「ピョン太」、女子用のボールには「ピョン子」と名づけられ、マジックペンでボールにその名前が書かれた。

それから予期せぬことが起きた。休み時間が終わると、誰か必ずボールを教室に持ち帰るようになったのだ。それだけではない。汚れていると誰かが拭いてきれいにした。

ボールに「ピョン太」「ピョン子」と話しかける子も現れた。誰かがボールに入れる袋を作って持ってきた。もうボールはすっかりクラスの一員になっていた。

これを読んで愛用のモノに名前を付けるようになった。最近我が家に来てきたお掃除ロボットは「日和ちゃん」と命名。走行距離15万キロを超えた我が家のミニバンは「ノアじいさん」。人間で言うと80歳くらいだろうか。今も元気に働いてくれる。名前を付けると、モノがもはやモノでなくなる。命が吹き込まれるようだ。だから「命名」というのだろう。

『すこい人たち』ごま書房新社より

阿弥陀さまは色もなく形もない仏さまでしたが、名を名乗り、形を示す(垂名示形)ことによって、私たちの生きる拠りどころになったのです。

名を名乗るということはまことに大事なことなのです。

別離の年の出来事 2023年(令和5年)年回表

身近な人を亡くされた年には、どんな出来事があったでしょうか。改めて振り返ってみましょう。亡くなってから1年目のお法事は1周忌、2年目は3回忌、6年目は7回忌、12年目は13回忌となります。お法事は亡き人を偲びつつ、この私が仏縁に遭わせて頂くための大切な仏事です。

| | |
|--------------------------|---|
| 1 周忌 令和4年 (2022) | 「安部元首相銃殺」 2月藤井聡太10代初の五冠 北京オリンピック開催。 4月知床半島で観光船沈没。 7月安部元首相銃撃され死亡。 9月通園バスの三歳女児死亡。 11月防衛費27年度にGDP比2%。 |
| 3 回忌 令和3年 (2021) | 「東京五輪開催」 1月バイデン米国大統領に就任。 2月大阪なおみ全豪テニス2度目のV 4月松山がマスターズゴルフ制覇。 7月熱海で大規模土石流。 7月東京五輪開催 9月自民新総裁に岸田氏。 |
| 7 回忌 平成29年 (2017) | 「森友学園問題」 1月トランプ大統領就任。 4月米中首脳会談。 9月眞子さま婚約。 10月衆議院選挙自民大勝。ラスベガスで銃乱射。58人死亡。 12月大谷翔平、MLBエンゼルス入団発表。 |
| 13 回忌 平成23年 (2011) | 「郵政民営化」 1月防衛省発足。 4月石原慎太郎都知事選三選。 7月新潟中越沖地震発生。参議員選民主党圧勝。 10月郵政民営化。 11月山中伸弥京大教授IPS細胞作成成功 |
| 17 回忌 平成19年 (2007) | 「東日本大震災」 2月大相撲八百長事件発覚。 3月東日本大震災発生。 7月女子W杯サッカーで優勝。 8月野田佳彦新政権発足。 9月北朝鮮、金正日総書記死亡。 |
| 25 回忌 平成11年 (1999) | 「放射能漏れ事故」 1月ユーロ取引開始。コロンビア地震発生 3月台湾・中華航空機事故。 7月全日空機ハイジャック。 8月トルコ地震発生。 9月東海事業所で放射能漏れ事故。 10月小淵第二次内閣発足。 |
| 33 回忌 平成3年 (1991) | 「湾岸戦争」 2月湾岸戦争勃発。 5月横綱千代の富士引退。 6月雲仙普賢岳噴火。東北・上越新幹線東京駅乗り入れ。 9月韓国国連加盟。 10月自民党総裁に宮澤喜一氏就任。 11月PKO法案成立。 12月ソ連邦消滅。 |
| 50 回忌 昭和49年 (1974) | 「長嶋茂雄現役引退」 1月田中首相アジア歴訪。 3月小野田元少尉、帰国会見。 8月三菱重工業ビル爆破事件発生。 9月多摩川堤防決壊。 10月中日ドラゴンズが20年ぶりに優勝。長嶋茂雄現役引退。 |

俳句を楽しむ (九十一)

森本隆を

令和五年に入り、文字通り一月はあつという間に過ぎ、今はもう二月末、暦の上ではすでに春に入っています。人間の世はコロナだ、ウクライナ侵攻だ、物価が高いが給料は上がらないだとか余りうれしくない話題が次々と続きますが、自然界は着実にかつ静かに季節のいとなみが変わっています。ま冬の風とは違う風になり、田畑や野山の色も確かに春の色に変わってきています。さて、暦の話ですが、今の暦は太陽の運行を基準にした太陽暦を用いていますね。そして一年を春夏秋冬の四季に分け、それぞれをまた六等分し一年を合計二十四等分した「二十四節季」と呼ぶ基準をもうけ我々の暮らしに役立ててきました。今年はその二十四節季を詠んだ俳句を見て、季節と人間の暮らしのかかわりを鑑賞してみましよう。今回は、まず春の六節季の句を「俳句歳時記」の例句から引いてみます。

最初は「立春」です。節分の翌日で二月四日でした。この日から暦の上では春です。

立春の駅天窓の日を降らし 寺島ただし
 川下へ光る川面や春立ちぬ 高浜 年尾
 寒い冬もやっと終わりそう春の気配を

喜び新しい豊かな季節への思いがあふれる句です。

次は「雨水」と言い、二月十九日頃です。降る雪は雨に変わり、山の雪も解けて水になり農耕の準備が始まる頃です。

大楠に諸鳥こぞる雨水かな 木村 蕪城
 金色に竹の枯れたる雨水かな 津川絵恵子
 自然界の現象や生き物から敏感に何かを感じ取ることの大切さを感じます。

三月に入り五日ごろには「啓蟄」という日があります。だんだん温かくなり冬眠してた虫やへび、蛙などが穴から出てくる頃です。

啓蟄の土着けて蟻たたかへり 鷹羽狩行
 啓蟄の小石の影のもちあがる 石嵐 岳

三月に入るとあたたかい日と寒い日何日かずつ繰り返しながらそれでも春は急ぎ足でやってきます。二十日頃には「春分」の日があり、春の彼岸の中日、もう本格的に春です。

春分の田の涯にある雪の寺 皆川 盤水
 春分や手を吸いにくる鯉の口 宇佐美魚目
 春分の時報は島の塔に鳴る 北澤 瑞史

山の陰などにまだ雪の色が残るものすつかり気分も春、鯉の動作も時間を告げるチャイムの音も明るく軽やかな春ですね。

各地から桜の花便りがちらほら聞こえてくる三月末から四月にかけ人々の心もうきうきとする、一年で最も良い時節になります。四月五日頃、「清明」という節季があります。

地上の物すべてがはつらつとしているように

見えるところから清明と名付けられたという説もありです。

清明や街道の松高く立つ 桂 信子
 清前や鳥はくちばし閉ぢて飛ぶ 鶴岡 香苗
 清前の雨に光れる瑠璃瓦 古賀まり子
 大気は明るく澄み世の中のすべてのものが命の歌をうたっている様です。そして四月も下旬を迎えると春の最後の節季「穀雨」が二十日頃です。穀物を育てる雨の降るころ、という意味から名付けられたそうです。

まつすぐに草立ち上がる穀雨かな 岬 雪夫
 ひねもすの穀雨の雨となりしかな

西嶋あさ子

以上大急ぎで春の二十四節季を六つ、俳句で見ましたが、自然界の推移に人間の方が目を向けて観察し、感じ取ることを自分達の生活にいかしてきた歴史をもう一度振り返ってみることも良いかもしれません。



位職書作品



【字句】
舞



安藤忠雄仕事を作る

BOOK 本



発行者 日本経済新聞出版
著者 安藤忠雄
定価 1950円+税

本書は2020年、同出版社から刊行された「仕事を作る私の履歴書」に新たな文章と建築写真を加え、大幅に改訂したものです。

著者の安藤先生は経済的な事情等で独学で建築を学べれます。学歴もなく社会的な実績もない氏に、ただ「人間として面白いから」という理由で仕事を任せてくれた古き良き勇氣ある大阪人のお陰で、仕事をしながら建築を学ぶことが出来たと語っています。先生は2009年、2014年と二度のがんの手術を受け五つの臓器を失うも、それでもなお仕事を続けて今に至っています。アメリカの詩人サムエル・ウルマンの「希望を心に持ち続ける限り、人間はいつまでも青春を生きられる」という言葉のように、目指すはいつまでも未熟で青いリングの生き方だと語っています。

振り返れば模範というにはほど遠い私の歩みが、若い人を少しでも勇気づける材料となれば幸いです。あると述べられています。

光明寺のホームページ

南岳山光明寺

検索



「光明寺だより」をご家族の皆さんで
お読みください

★次回発行予定：7月下旬



言葉のプレゼント

あい(愛)がある
お(悪)のうえ(上)に
あいうえお



親鸞聖人御誕生850年 慶讃法要
立教開宗800年

★「親鸞聖人ご誕生850年・立教開宗800年」の慶讃法要が3月から本山において行われます。西条組では寺族のみの参拝になります。また記念事業の一環として特別展が開催されます。

(本紙一ページ参照)

★五月にはコロナウイルスがインフルエンザ並みの五類に分類されるそうですが、しばらくは感染対策を怠らないようしましょう。

★健康管理のために始めたウォーキングも今年2月で丸二年になります。つまずいてこけたこともあります。体力が許す限り続けていきたいと思っています。

